



クリスマスはイエス様のお誕生日です。本日みんなでおめでとうのお祝いをいたしました！

「こどものもり」のクリスマスはサンタクロースからのプレゼントではなく、本来のクリスマスの話を伝えていく日と考えて、ゆっくりと静かな流れの中で行ないます。12月に入り、成道会（お釈迦様のお悟りの会）が終わり、少しずつ園全体がステキな



クリスマスの雰囲気になっていきました。『太陽のお部屋はカーテンを閉めて薄暗い

中央にヨセフとマリアそして白い布に包まれた赤ちゃんのイエスさまの人形が、又園の木の実などで飾りつけたクリスマスツリーが飾られています。』

最初に年長児と先生の代表によるちょっと緊張してのキャンドルサービスと先生方の「きよしこの夜」の歌で始まりました。



理事長によるクリスマスの話に続き、右のようなプログラムで園服でちょっと改まった子どもたちと先生たちと一緒に静かなゆっくりとした厳粛な雰囲気の中でイエス様のお誕生のお祝いを行いました。

ランチタイムもテーブルには小さなツリーとキャンドルが灯った中で、クリスマスのお祝いメニューです。

ちゅうりっぷ・こすもす組もテーブルにキャンドルを灯してのランチタイムでした。



「クリスマスは赤い洋服のサンタさんが出てきてプレゼントやケーキだけのお祭り騒ぎではなく、イエス様が生まれたお祝いの日であることを子どもたちに伝えています。

（当園での多くの行事は出来るだけ「本当の意味」をやさしくわかりやすく伝えていきたいと思って取り組んでいます。）

「こどものもり」の子どもたちはみんなに愛されて、祝福されて育ててきていることをこのようなお祝いを通して感じ取れることを願っています。自分がお祝いしてもらってうれしい気持ちを今度は他のためへのお手伝いに向けていかれればと思っています。いつもの太陽のお部屋と違う雰囲気の中、少し緊張して集いに参加することや上品な心持ちで丁寧に生活する体験やみんなに認められ信頼される生活が出来れば、大人になって社会に出てマナーやその場の雰囲気に対応できる魅力ある人になっていかれるのではないかと思います。更にはどの子のお誕生の喜びもみんなで心から「おめでとう」と言える気持ちや自分の周りのたくさんの人たちに守られていることに感謝する気持ちも身につけていければと思います。こどものもりではこのような体験を通して温かな心、感謝の心、思いやりの心が育つように願っています。

プログラム

- キャンドルサービス
- すみれ組代表と先生代表
- 1 うた「きよしこの夜」 先生
- 2 お話 理事長
- 3 うた「お星が光る」 全園児
- 4 ハンドベルの演奏 先生
- 5 園児へのプレゼント紹介
- 6 うた英語で
We wish your merry
Christmas

退場：理事長・副園長より
一人ずつへプレゼントを
渡します



本日のお祝いにとデザートはキャンドルの灯ったテーブルの光を囲んだ温かな雰囲気の中で、ほし組とそら組はクリスマスランチの後に、こすもす組とちゅうりっぷ組はおやつの時に父母の会で飾り付けをしたミニケーキをいただきました。



※絵本袋は金曜日でも使いますので、明日にお持たせください。
よろしく願います。

本来ですと子どもたちから「たくさんのステキな気持ちをいただいているお礼に、お家の方へのプレゼントは何にしようか」と子どもたちとの話しあい、クッキーづくりをしました。今年も感染予防のため、クッキーはツリーに飾る分だけクッキングコーナーで作りました。せめて子どもたちの気持ちだけでも受け止めていただけたら幸いです。

良い子へのプレゼント・・・

年齢別に先生たちが保護者の皆様にかわり、ぜひ親子で読んでいただきたいと選んだ絵本です。ふれあいの時となるように選んだ「絵本」は、太陽の部屋の「もみの木」の下の白い雪に覆われてプレゼントとして飾られました。



ちゅうりっぷ組：「ぶくちゃんのいただきます」

こすもす組：「どうすればいいのかな？」 年少：「おほしさま」

年中：「びよんびよんのかぼんです」

年長：「1年生になるんだもん」

どうぞ子どもたちに大人の方が読んであげてください。

よろしく願います。